2016年12月期　第2四半期決算説明会

GMO TECH

東証マザーズ<６０２６>

2016年7月28日

1．結論と要約
2．第2四半期決算概要
3．セグメント別概況
　①スマートフォンアフィリエイトASP事業
　②PC・モバイル集客支援事業
　③スマートフォンアプリCMS　ASP事業
4．総括

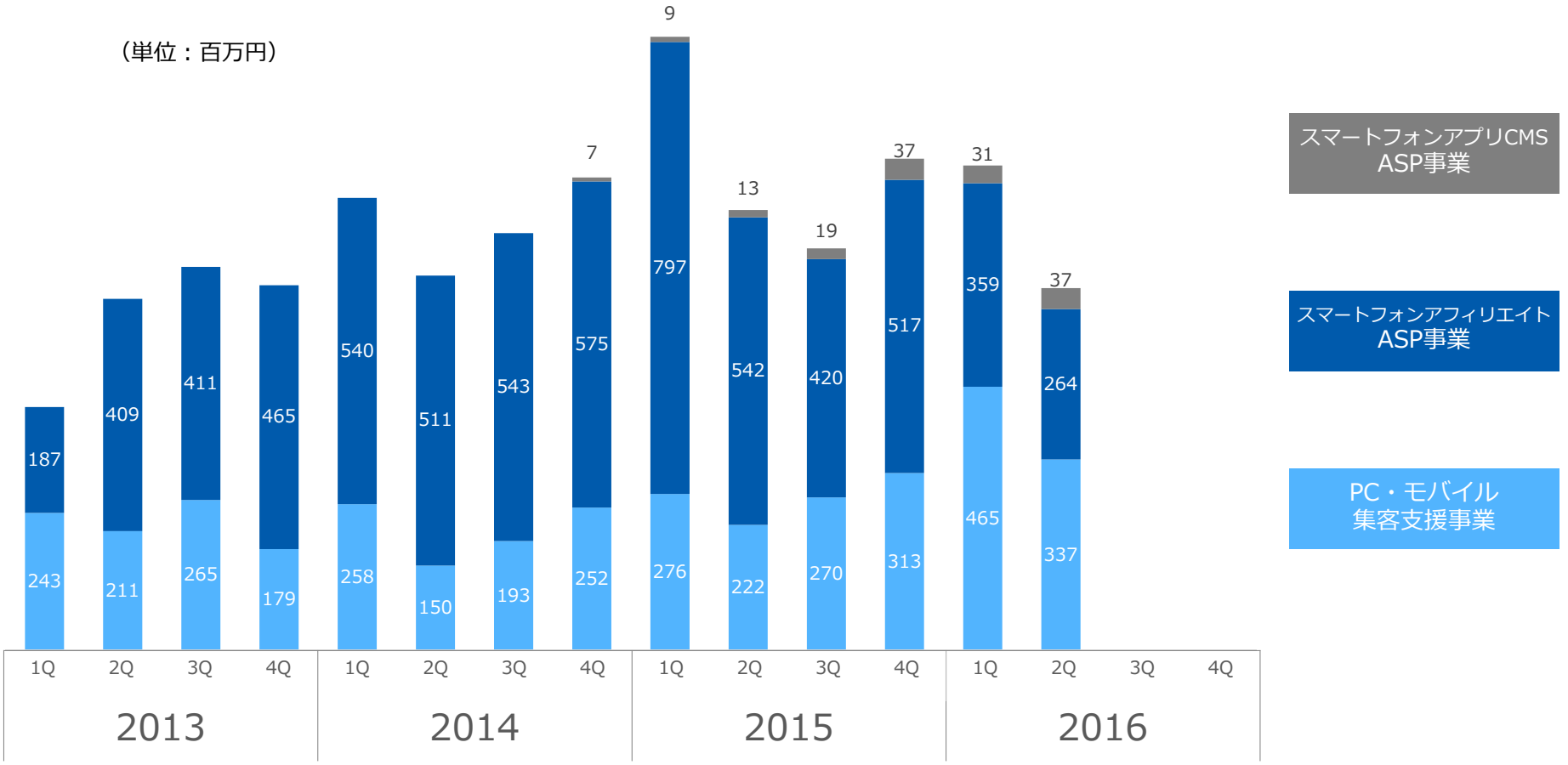
決算サマリ

外部環境変化の影響により減収トレンドが継続
戦略転換によりボトムからの反転を目指す

単位：百万円	2015年 1-6月	2016年 1-6月	対前年
売上高	1,860	1,495	-19.6%
営業利益	238	-38	–
経常利益	237	-41	–
当期純利益	145	-47	–

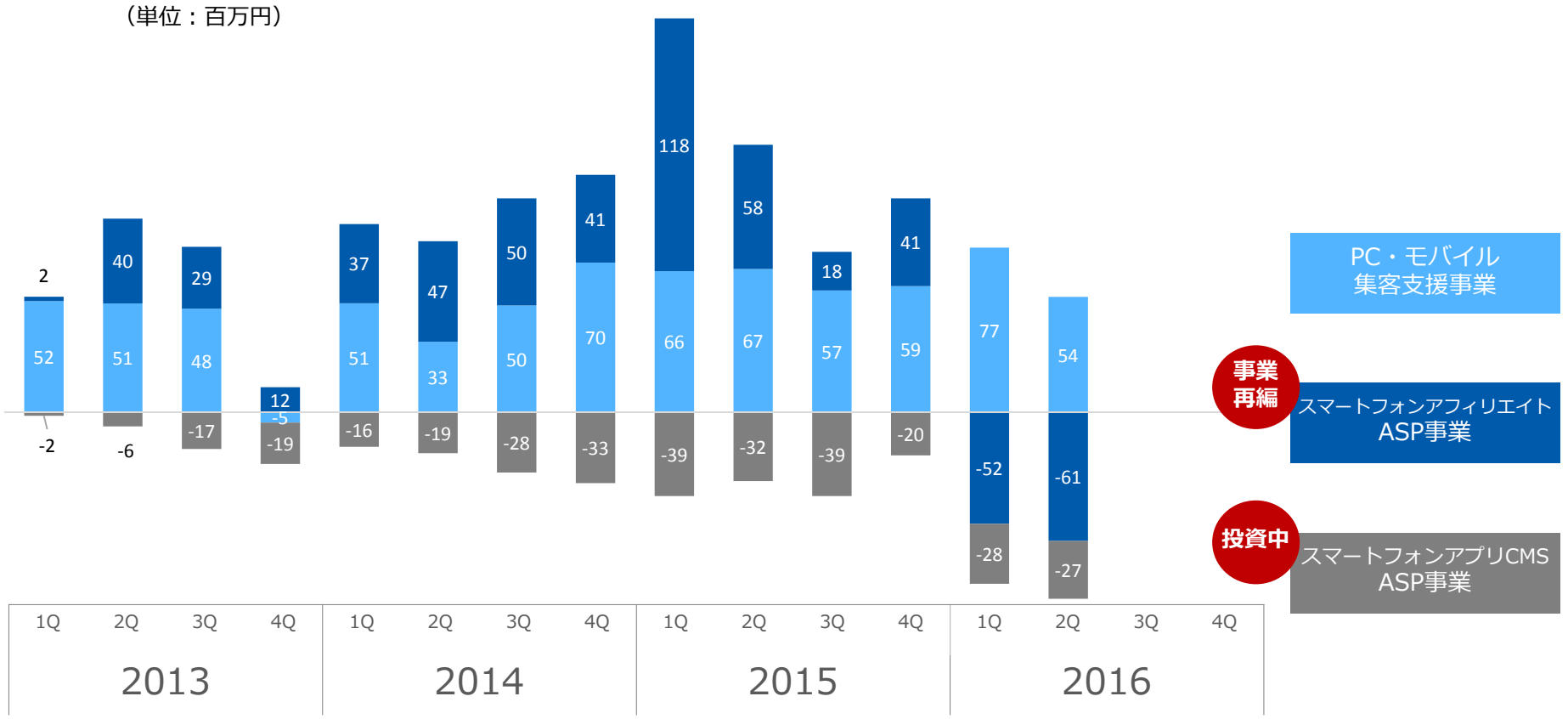
セグメント別売上

季節要因により2Qは減収
下期へ向けて事業再編を含む大幅な構造改革実施



セグメント別営業利益

スマートフォンアフィリエイトASP事業における赤字幅拡大
下期PL改善を実施



業績予想に対する進捗

直近の進捗をふまえ、通期業績予想を下方修正
投資戦略については見直しへ

単位：百万円	業績予想（修正前）	業績予想（修正後）	2016年1-6月	進捗率
売上高	4,200	2,600	1,495	57.5%
営業利益	50	-60	-38	―
経常利益	50	-60	-41	―
当期純利益	30	-64	-47	―

自己株式取得について

株主還元施策の一環として自己株式取得を実施

	2016年 2月15日開示	2016年 5月12日時点	取得結果
①取得金額	100百万円(上限)	99.9百万円	99%
②取得株数	70,000株(上限) 発行済株式総数 に対する割合　6.36%	39,400株	56%
③取得期間	2016年 2月16日～6月30日	2016年 2月16日～5月12日	–

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

第2四半期決算概要

貸借対照表サマリ

（単位：百万円）	2015年 12月末	2016年 6月末	増減
流動資産	1,571	1,051	-519
（現金預金）	509	490	-19
固定資産	69	152	82
資産合計	1,641	1,204	-437
流動負債	627	415	-211
固定負債	0	0	0
負債合計	628	416	-211
純資産	1,013	787	-226
自己資本 （うち利益剰余金）	1,014(470)	789(345)	-224(-124)
（自己資本比率）	61.7%	65.4%	+3.7pt
負債純資産合計	1,641	1,204	-437

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

損益計算書サマリ

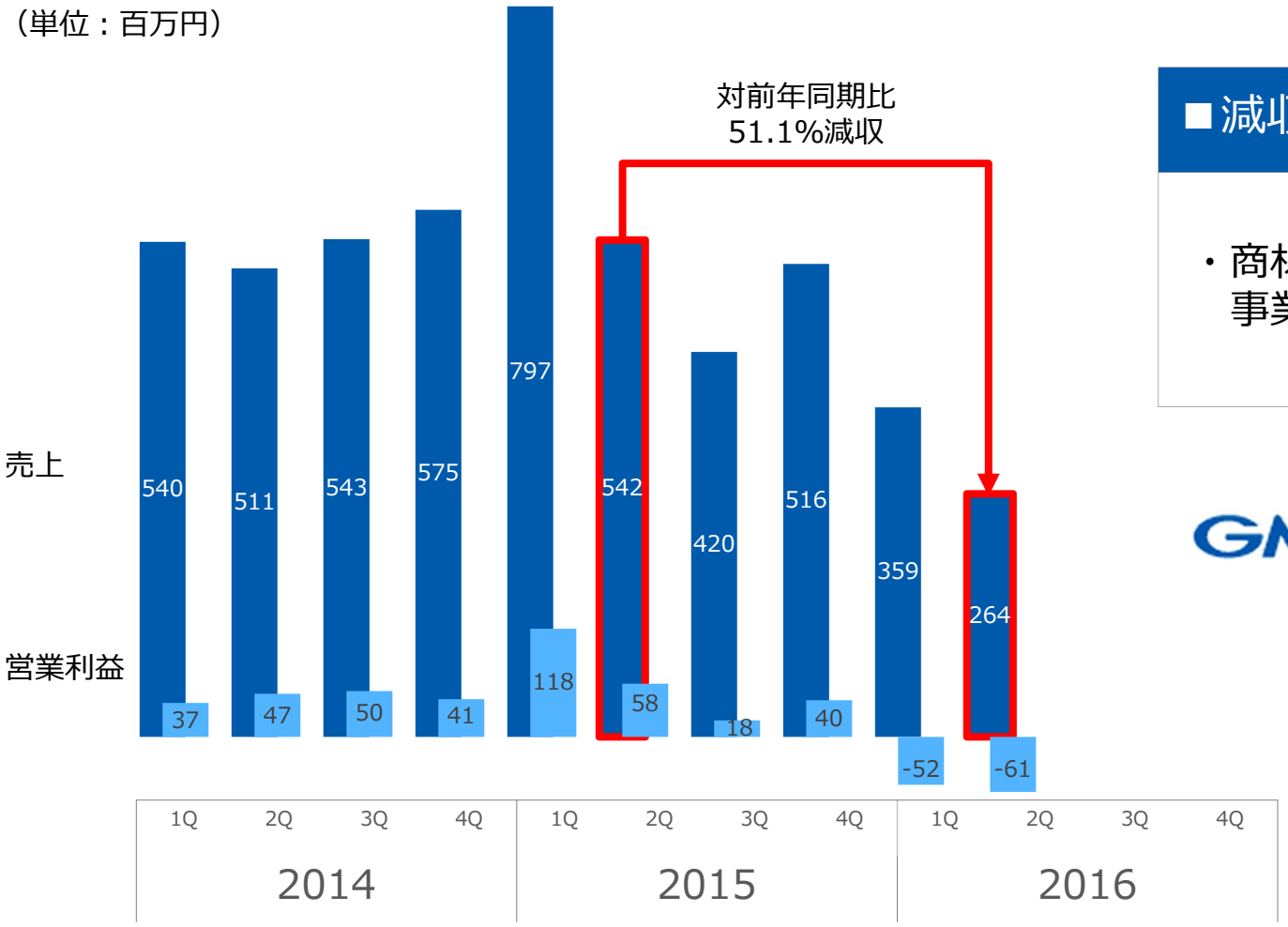
（単位：百万円）	2015年 1-6月	2016年 1-6月	2016年 業績予想	前期比
売上高	1,860	1,495	2,600	-19.5%
売上原価	1,291	1,197		
売上総利益	569	298		
販売管理費	330	336		
営業利益	238	-38	-60	―
営業利益率	12.8%	―		
営業外収益	0	0		
営業外費用	0	3		
経常利益	237	-41	-60	―
特別損益	―	―		
法人税等	92	6		
当期純利益	145	-47	-64	―

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

セグメント別概況

事業概況

（単位：百万円）



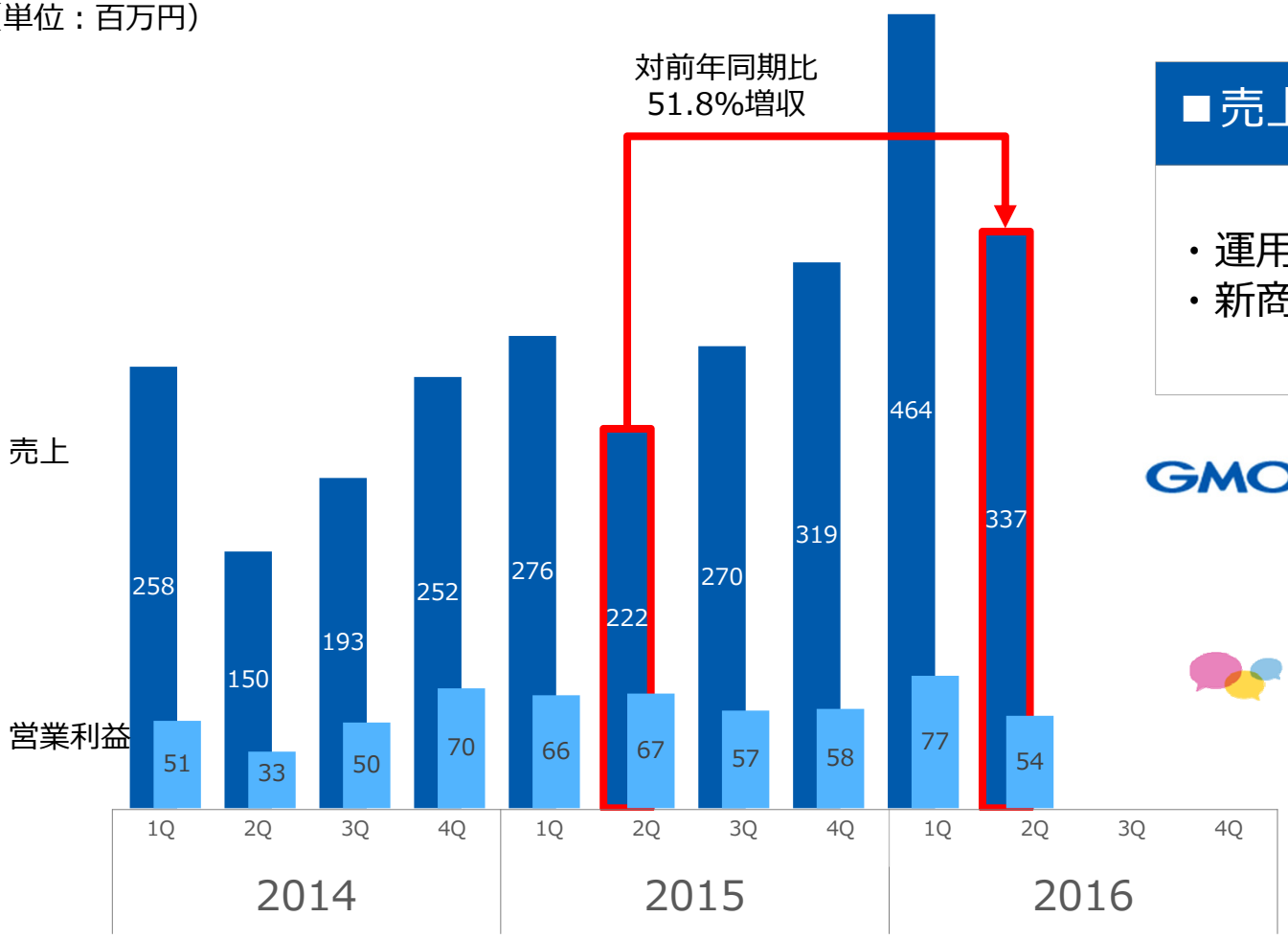
■減収トレンド

・商材構成の見直しにより事業構造の転換を図る

GMO SmaAD

事業概況

（単位：百万円）



■売上増収

・運用型広告を中心に拡大
・新商材の積極投入

GMO Social Media Support

AsiAD by GMO

BuzzCrowd by GMO

強化施策

6/21 インバウンドおよび越境EC向け広告マーケティングサービス「AsiAD(アジアド) byGMO」提供開始

AsiAD by GMO

・エリア特性に基づいたスムーズな広告運用を実現
・グローバルメディアから現地メディアまで、最適な媒体の選定・出稿が可能
・クリエイティブの多言語化にも対応



多言語マーケティング

多言語に対応し対象国の普及状況に合わせた適切なソーシャルメディア、検索サイト、DSPなどのご提案。



一貫したサポート体制

出稿・運用・レポート分析まで一貫した広告マーケティング活動をサポート。



現地メディアへの配信

国内からは購入が難しかった現地ローカルメディアへの広告配信・運用も日本にいながら可能。



日本語による対応

レポートの翻訳など日本語によるご依頼と、日本語によるレポートを標準サービスとしております。

強化施策

7/7 インフルエンサー・マーケティングサービス「BuzzCrowd byGMO」提供開始

BuzzCrowd by GMO

・インフルエンサー起用からプランニング、効果分析までワンストップで提供
・各ジャンルで影響力が大きい国内外インフルエンサー最大3万人の中から商材・予算に応じてアサインが可能



最大３万人を活用可能！
総リーチ数は約6400万人

国内外の主要SNSに対応。総リーチ数は国内は2200万人以上、海外はアジアを中心に4200万人以上のネットワーク。インバウンド需要にも対応！



ジャンル毎に特化！
エンゲージメントを重視

美容・グルメ・ファッション等、各領域に影響力の強いインフルエンサーをご用意。投稿内容の確認から分析まで、きめ細かいサポート体制！



有名人から一般人まで予算に応じて対応可能！

商材や予算に応じて、幅広いインフルエンサーを自由にアサイン可能。海外/日本での体験会の企画等もさせて頂きます。

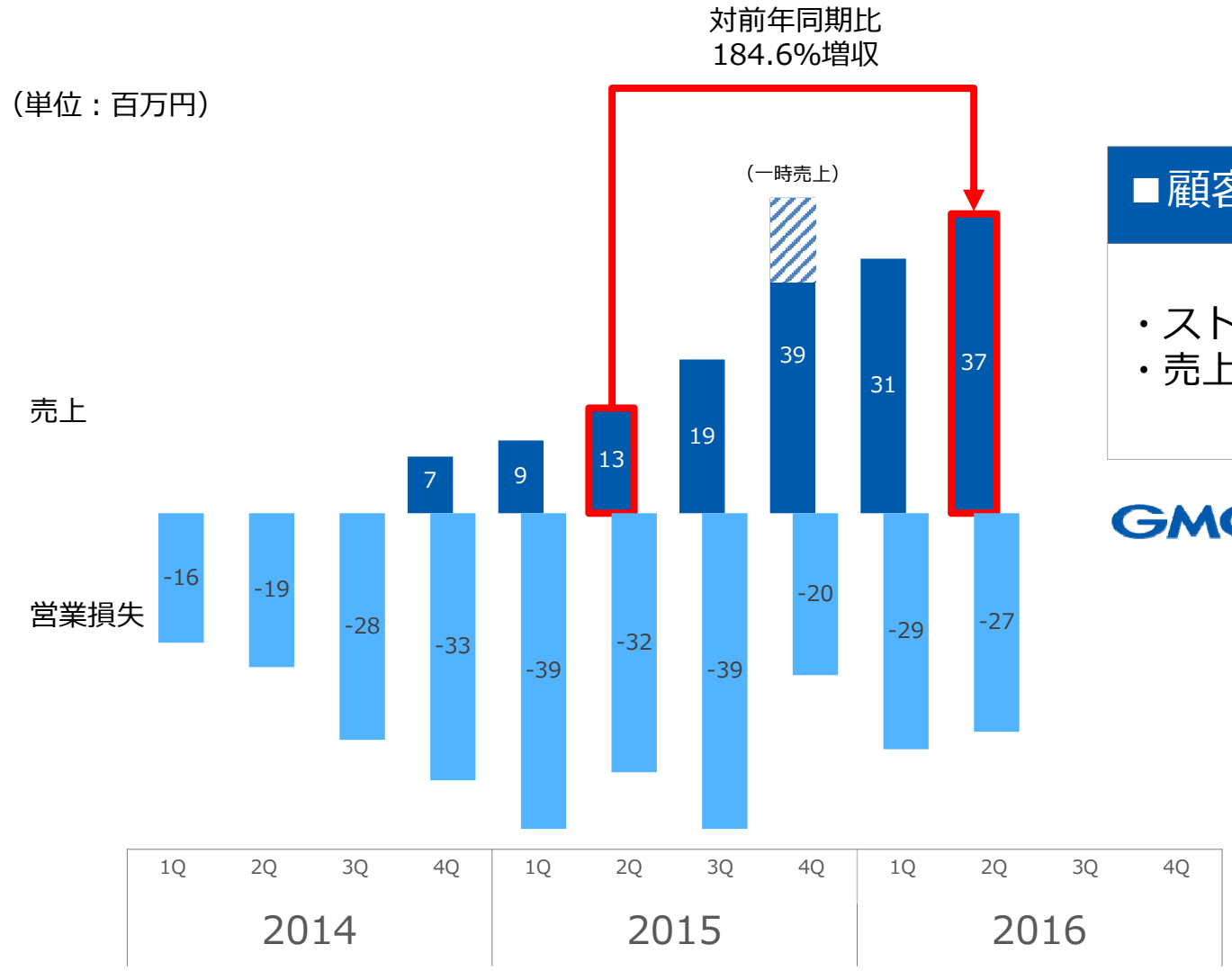


SNS広告との連携
効果測定/分析まで対応！

広告代理店としての豊富な実績をベースに、ソーシャル広告との連携や、効果測定はもちろん、ユーザー分析まで対応可能！

※別途費用が発生する場合あり。

事業概況



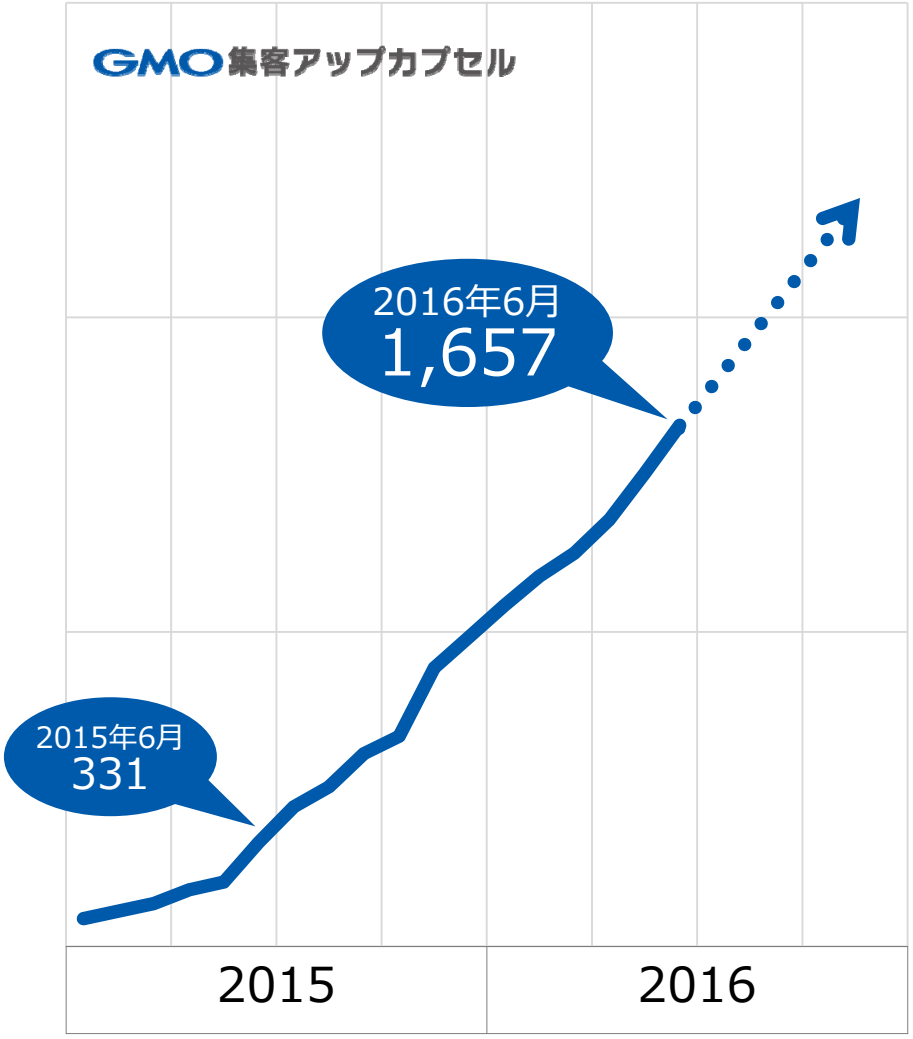
■顧客基盤が拡大

・ストック型ビジネスモデル
・売上トレンドは順調に拡大

GMO集客アップカプセル

KPIの推移

累計店舗数



アプリ活用事例集



総　括

今後の見通し

全社	・自社テクノロジーを主軸とした成長シナリオは不変 ・短期的にはPL立て直しを最優先
スマートフォン アフィリエイトASP事業	・ビジネスモデルの転換 ・組織再編を経て、成長分野へ再チャレンジ
PC・モバイル 集客支援事業	・ソーシャル商材のニーズ拡大に対応し堅調に推移 ・ミックス改善・粗利率確保が課題
スマートフォン アプリCMS ASP事業	・年内の月次黒字化が視野に ・ストック収益＋将来の事業展開へのプラットフォーム化

本資料には、2016年7月28日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。
また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。

Copyright (C) 2016　GMO TECH, Inc. All Rights Reserved.